

のりものはかせになって「はたらくのりもの」クイズ大かいをしよう (いろいろなふね)

男子 12名 女子 10名
計 22名

1 単元のデザイン

単元について

- 本単元は、小学校学習指導要領国語内容C(2)ウ「文章の中の重要な語や文を考えて選び出すこと。」を受けて設定されたものである。
- 本教材「いろいろな ふね」は、特徴的な機能をもった4種類の船を例として取り上げ、役目や構造、装備などについて説明した文章である。4種類の船の例示が同じ文章構成、同じ文型で説明されており、叙述に即して内容を正確に捉えることに適した教材である。
- 図鑑やカードなどの文章の中から必要な語句を選び、相手に分かりやすく伝え合わせる活動を通して、本校で育成を目指す資質・能力を育むことができる。

児童の実態

- 本学級の児童は、これまで、教材「どうやってみをまもるのかな」において、文章のまとめりに内容を読み取り、大事な言葉を選び出す学習をしている。単元終了時のテストで8割以上取ることができた児童は73%だった。
- 学び合いの学習を通して、絵と文章から分かったことをまとめ、みんなの前で発表することができるようになってきている。しかし、文章の中から大事な語や文を正しく抜き出すことができない児童が2割いる。その児童は、積極的に本や図鑑を開いて読んでいる様子が見られるが、説明の文章を読まずに絵から分かったことを伝えようとする様子である。

パフォーマンス課題について

- 本単元では、生活の中で活躍している「働く乗り物」について調べ、年長児童に働く乗り物クイズを出すというパフォーマンス課題を設定した。パフォーマンス課題に取り組む場として、来年度小学校に入学する年長児童が安浦小学校に来校する1日学校体験入学の日を考えている。その際、大事な言葉や簡単な言葉を使って分かりやすく伝えるように説明することを目的とさせるため、今回クイズを出す相手を年長児童とした。年長児童は難しい言葉や長い説明では乗り物の特徴や説明が伝わりにくいため、年長児童に分かりやすく表現するために言葉を選ばせることで、国語の力を育成することができると考える。

思考を深める指導のポイント

- 教材文を「始め(話題提示)」、「中(4つの例示)」、「終わり(まとめ)」に分け、説明文の典型的な文章構成をつかませる。思考の型を用いながら読み取り、「いろいろなふね」には違う役目がある、それぞれの役目に合うつくりになっていることを捉えさせる。ワークシートでは、教材文の大切な言葉を選び出すことができるようにするために、始めは大切な言葉を抜き出すワークシートを使用し、徐々に文章から「役目」、「つくり」、「できること」を自分で選び出すことができるようにする。児童が好きな乗り物を図鑑で調べてカードにまとめて発表する際には、「相手(年長児童)に分かりやすく乗り物について伝えるためにはどうすればいいのだろう。」と投げかけ、相手意識をもち、発表の工夫を考えさせる。さらに、図鑑から調べた文章を写すのではなく、必要な言葉や文だけを選び出し、短くまとめるようにさせる。完成したカードをクラスで共有し、「役目」、「つくり」、「できること」に分けて作られているかを考えさせ、より分かりやすいカードにするためにはどのようにしたらよいかを話し合わせる。

2 単元の目標

- ・乗り物の共通・相違・事柄の順序などの情報と情報との関係について理解することができる。
【知識及び技能】
- ・乗り物の「役目」、「つくり」、「できること」を文章の中の重要な語や文を考えて選び出すことができる。
【思考力、判断力、表現力等】
- ・言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。
【学びに向かう力、人間性等】

3 単元の評価規準

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	①乗り物の共通点や相違点など、情報と情報の関係を理解している。	①読むことにおいて、乗り物の「役目」、「つくり」、「できること」などの文章の中の重要な語や文を選び出している。	①進んで本や図鑑から乗り物を探して読書を楽しみ、調べたことを相手に分かりやすく伝えようとしている。

4 単元計画（全14時間）

次	時	学習内容	評価規準（評価方法）		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
一	1	<p>教師が働く乗り物の絵本の読み聞かせを行い、働く乗り物について興味をもたせる。</p> <p>教師が乗り物博士になって、働く乗り物クイズをする。</p>			
	2	パフォーマンス課題を設定し、学習計画を立てる。			
二	3	<p>教材文「いろいろなふね」を読んで、どんな船が出てくるのかを確かめる。</p>	◎知①（ノート分析）		
	4	<p>「きゃくせん」の内容を読み取り、カードにまとめる。</p>		○思①（乗り物カード）	
	5 （本時）	<p>「フェリーボート」の内容を読み取り、カードにまとめる。</p> <p>比較する</p>		○思①（乗り物カード）	
	6	<p>「ぎょせん」の内容を読み取り、カードにまとめる。</p> <p>比較する</p>		○思①（乗り物カード）	
	7	<p>「しょうぼうてい」の内容を読み取り、カードにまとめる。</p> <p>比較する</p>		○思①（乗り物カード）	

三	8	整理・分析	「いろいろなふね」で学習したことをまとめ、文章全体の構成を捉える。 今まで学習した4つの船の特徴をまとめる。 比較する 関連付ける	◎知① (ワークシート)		
	9		まとめ・創造・表現	図鑑から「ポンプ車」の内容を読み取り、カードにまとめる。 比較する 関連付ける		◎思① (乗り物カード)
	10・11	図鑑やカードから、自分で働く乗り物を1つ選び、内容を読み取り、乗り物カードにまとめ、クイズをつくる。			◎思① (乗り物カード, クイズ)	○態① (行動観察)
四	12	実行	パフォーマンス課題に取り組む。 ・クラスで乗り物クイズ大会を開く。 ・より良いクイズにするための手立てを話し合う。		◎思① (パフォーマンス課題)	○態① (行動観察)
	13		・年長児童の前で、「働く乗り物クイズ大会」を開く。 生活科との関連			
五	14	振り返り	学習の振り返りを行う。			◎態① (行動観察)

※指導に生かす評価を行う代表的な機会については「○」を、その中で特に学級全員の児童の学習状況について総括の資料にするために記録に残す評価を行う機会には「◎」を付けている。

5 本時の学習（本時5／14）

（1）本時の目標

フェリーボートの内容を読み取り、「役目」、「つくり」、「できること」をカードにまとめることができる。
【思考・判断・表現】

（2）学習の流れ

	学習活動 (○主な発問・予想される児童の反応)	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
つかむ	1 本時の学習が、パフォーマンス課題とどう繋がっているかを知る。 2 フェリーボートの写真を見て、気付いたことを発表する。 3 課題を見付ける。 4 めあてをつかむ。	<ul style="list-style-type: none"> パフォーマンス課題との繋がりを確認する。整理の仕方について見通しをもたせる。 フェリーボートの写真を見せ、イメージをもたせる。 フェリーボートの内容が書かれている段落を見付け、文末表現に気を付けさせながら、音読をさせる。 フェリーボートの「役目」、「つくり」、「できること」は何かをカードにまとめる課題を提示する。 	
	フェリーボートについて、やく目、つくり、できることをカードにまとめよう。		
	学び合い①自分の考えをもつ	学び合い②比較しながら思考する	
考える	5 フェリーボートについて、大事な言葉を丸で囲み、乗り物カードに書く。 比較する ○客船と比べながら、フェリーボートについて「役目」、「つくり」、「できること」をまとめましょう。 ・「たくさんの人と車を一緒に運ぶ」は大事な言葉かな。 ・「車をとめておくところがある」は、前の時間の「客船」には無いから、大事な言葉かな。	<ul style="list-style-type: none"> フェリーボートの「役目」、「つくり」、「できること」の関係を深く読み取らせるために、写真と文を対応させて、大切な言葉を読み取らせる。 前時の「客船」の乗り物カードを提示し、大事な言葉だけを選び出すことを想起させる。 なぜ大事な言葉だと思ったのか、客船の乗り物カードと比較しながら、理由をもたせる。 	読むことにおいて、乗り物の「役目」、「つくり」、「できること」などの文章の中の重要な語や文を選び出している。 【思・判・表】 (乗り物カード)

<p>深める</p>	<p>学び合い③考えを広げたり深めたりする</p> <p>6 乗り物カードを使い、ペアで「フェリーボート」の「役目」、「つくり」、「できること」をまとめる。 比較する</p> <p>7 全体で「フェリーボート」の「役目」、「つくり」、「できること」をまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアで話し合う時には、前時の「客船」の乗り物カードと比較しながら、違うところを見付けさせ、「フェリーボート」の特徴を見付けさせる。 ・児童が大事だと考えた言葉を短冊に書き出し、黒板上で動かしながら、どの言葉が「役目」、「つくり」、「できること」になるかを考えさせる。 ・「客船」と「フェリーボート」は、人を運ぶという役目は同じだが、「フェリーボート」は車も一緒に運ぶことができるということを捉えさせる。 	
<p>振り返る</p>	<p>8 本時のまとめを行う。</p> <div data-bbox="272 958 1193 1059" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>フェリーボートは、たくさんの人とじどう車をいっしょにはこぶために、きやくしつや車をとめておくところがある。</p> </div> <p>9 振り返る。</p>	<p>・本時の学習を振り返り、パフォーマンス課題と関連付けて、「フェリーボート」の特徴を読み取ることができたかを振り返る。</p>	

6 板書計画

① フェリーボートは、たくさんの人とじどう車をいっしょにはこぶために、きやくしつや車をとめておくところがある。

② フェリーボートについて、やく目、つくり、できることをカードにまとめよう。

③ いろいろなふね

④ フェリーボートは、たくさんの人とじどう車をいっしょにはこぶためのふねです。

⑤ フェリーボートは、たくさんの人とじどう車をいっしょにはこぶためのふねです。

⑥ このふねの中には、きやくしつや車をとめておくところがあります。

⑦ 人は、車をふねに入れてから、きやくしつで休みます。

⑧ 車をいっしょにはこぶ

⑨ 車をとめておくところがある

⑩ 人を運ぶ

⑪ 船

⑫ フェリーボート

⑬ きやくせん

⑭ 船